

# J-クレジット制度 プロジェクト計画書 （排出削減プロジェクト用）

---

プロジェクトの名称：

柏崎市ガス水道局における下水処理場へのバイオガス発電機導入プロジェクト

プロジェクト 実施者名	柏崎市ガス水道局
----------------	----------

妥当性確認申請日 2014年 1月10日

プロジェクト登録申請日 2014年 2月25日

## 1 プロジェクト実施者の情報

### 1.1 プロジェクト実施者（複数のプロジェクト実施者がいる場合は代表実施者）

実施者名	(フリガナ) カシワザキシガススイドウキョク
	柏崎市ガス水道局
住所	新潟県柏崎市安政町1-36

### 1.2 J-クレジット保有者 ※1

保有者名	(フリガナ)
住所	

※1 J-クレジット保有者が決まっている場合は記入すること。

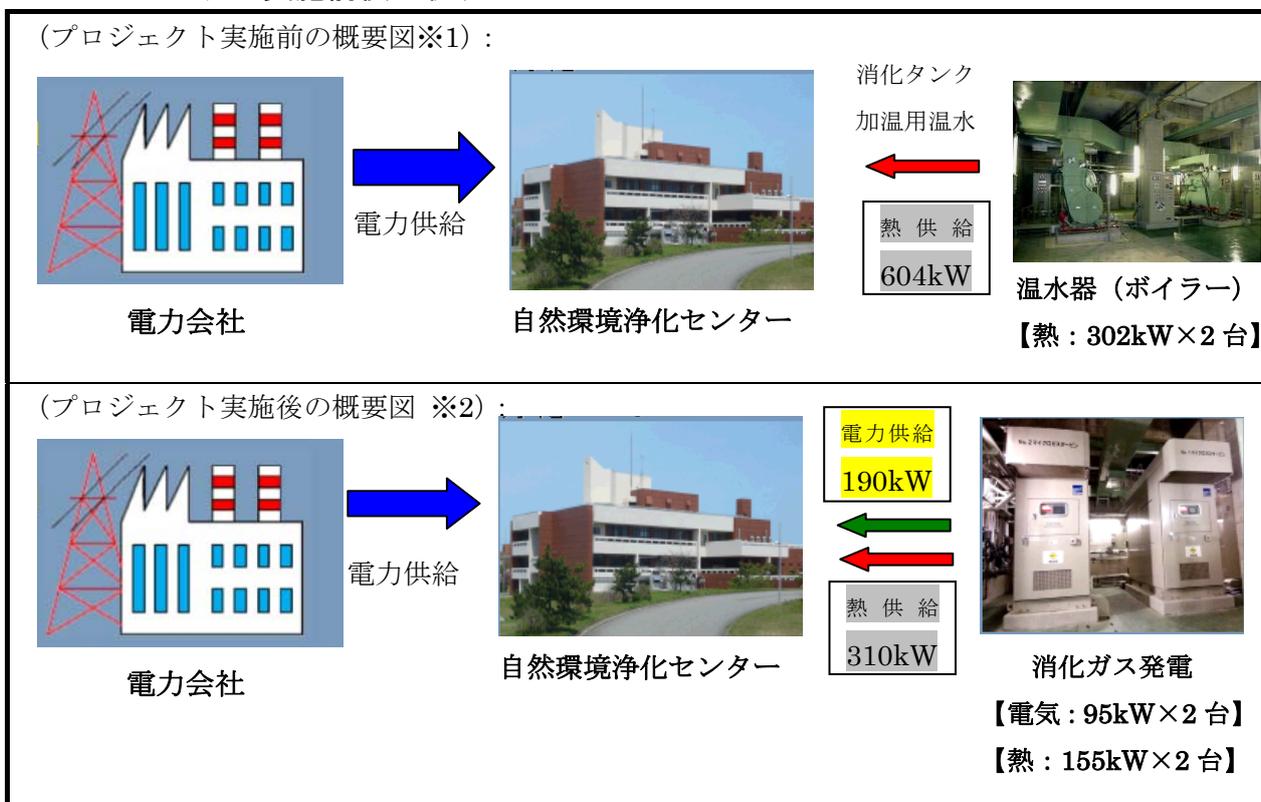
※ 以下、複数のプロジェクトをまとめて申請する場合は、2~4の内容を方法論ごと・実施場所ごとに記載すること。

## 2 プロジェクト概要

### 2.1 プロジェクトの目的及び概要

プロジェクト名	柏崎市ガス水道局における下水処理場へのバイオガス発電機導入プロジェクト	
目的	下水処理場にバイオガス発電機を導入することにより電力会社からの購入電力量を削減する。	
概要（削減方法）	バイオガス発電により系統電力を代替することでCO <sub>2</sub> 排出量の削減を行う	
プロジェクト実施場所	実施事業所名	自然環境浄化センター
	住所	新潟県柏崎市安政町1-36

### 2.2 プロジェクト実施前後の状況



### 2.3 プロジェクト要件への適合

プロジェクトの実施日 ※1	<p>□2013年4月以降に実施されたプロジェクトである</p> <p>■2012年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認及びオフセット・クレジット(J-VER)制度におけるプロジェクト登録のいずれも受けていない ※2</p> <p>□2008年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認又はオフセット・クレジット(J-VER)制度におけるプロジェクト登録を受けている ※3</p>
------------------	---

追加性

■追加性を有している ※4

※1 「プロジェクトの実施日」とは、設備の稼働日や燃料の切替えを行った日を指す。

※2 2013年度中に限り J-クレジット制度のプロジェクトとして登録申請を行うことができる。

※3 国内クレジット制度又はオフセット・クレジット（J-VER）制度から移行したプロジェクトについては、「2013年4月以降に実施されたもの」という要件を満たしている必要はない。ただし、標準的な設備をベースラインとして設定する必要がある。

※4 追加性評価に関する詳細情報は別紙（A.2）に示すこと。方法論の7. 付記において、追加性の評価が不要とされているもの（ポジティブリスト）については、別紙（A.2）の記入は不要。

### 3 方法論

#### 3.1 適用方法論

適用する方法論	方法論番号	EN-R-007 ver.1.0
	方法論名称	バイオガスによる化石燃料又は系統電力の代替
更新／新設 ※1	<input checked="" type="checkbox"/> 更新プロジェクト <input type="checkbox"/> 新設プロジェクト	

※1 ベースラインとして標準的な設備を設定する場合、「新設プロジェクト」となる。

#### 3.2 方法論の適用条件への適合 ※1

条件1	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	発電した電力は、全量が系統電力を代替しているため また、発生した熱の一部は、消化ガスタンクの加温に利用しているが、プロジェクト実施前も消化ガスで加温しており、ベースライン補正を行うため
条件2	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	発電した電力は、全量を自家消費しているため また、発生した熱の一部は自家消費し、有効利用していない熱は対象外としているため
条件3	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	下水汚泥を原料とした未利用廃棄物であるが、プロジェクト実施前に、一部の消化ガスを熱利用しており、その熱回収率にてベースライン補正を行うため
条件4	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	バイオガスの原料は、タンク等設備内で保管・貯留されているため
条件5	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	該当方法論が EN-S-007 コージェネレーションの導入となる場合に、更新プロジェクトの条件を全て満足することから、熱源設備を新設するプロジェクトとはならないため また、該当方法論が ENS-025 自家用発電機となる場合も、更新プロジェクトのため、特に追加条件がないため

※1 記載内容に関する根拠資料や関連情報等について、妥当性確認機関からの要求に応じて情報提供を行うこと。

#### 3.3 モニタリング・算定方法

ベースライン排出量 ※1				
主要／付随的	排出活動	温室効果ガスの種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	対象設備 (系統電力) の使用	CO <sub>2</sub>	—	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
主要			—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
付随的	原料の処理 (下水汚泥の埋立)	CH <sub>4</sub>	—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する

付随的				<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する
-----	--	--	--	--

プロジェクト実施後排出量 ※1				
主要／付随的	排出活動	温室効果ガスの種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要	対象設備（バイオガス発電設備）の使用	CO <sub>2</sub>	—	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の算定を行う 本方法論においては、対象設備による排出量を0としている
主要			—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
付随的	対象設備の起動時用の補助燃料LPG	CO <sub>2</sub>	0.7%	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input checked="" type="checkbox"/> 影響度により排出量を評価する
付随的	バイオマス原料の運搬	CO <sub>2</sub>	—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input checked="" type="checkbox"/> 影響度により排出量を評価する
付随的	バイオガス化処理設備の使用	CO <sub>2</sub>	—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input checked="" type="checkbox"/> 影響度により排出量を評価する
付随的	バイオガスの運搬	CO <sub>2</sub>	—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input checked="" type="checkbox"/> 影響度により排出量を評価する
付随的	発酵後残渣の処理（発酵後残渣の事後処理設備の使用）	CO <sub>2</sub>	—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input checked="" type="checkbox"/> 影響度により排出量を評価する

※1 各排出活動の排出量算定方法及び影響度の算定方法については別紙（A.3）に記載すること。

※2 モニタリング方法については別紙（A.4）に記載すること。

#### 4 排出削減計画

認証予定期間 ※1	2014年3月1日～2021年3月31日（7年1ヶ月）			
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト 実施後排出量	排出削減量
	2013年度	57.0 t-CO2	0.0 t-CO2	57 t-CO2
	2014年度	626.4 t-CO2	0.0 t-CO2	626 t-CO2
	2015年度	598.3 t-CO2	0.0 t-CO2	598 t-CO2
	2016年度	580.5 t-CO2	0.0 t-CO2	580 t-CO2
	2017年度	567.4 t-CO2	0.0 t-CO2	567 t-CO2
	2018年度	567.4 t-CO2	0.0 t-CO2	567 t-CO2
	2019年度	567.4 t-CO2	0.0 t-CO2	567 t-CO2
	2020年度	567.4 t-CO2	0.0 t-CO2	567 t-CO2
	合計	4,131.8 t-CO2	0.0 t-CO2	4,129 t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 電力のCO2排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由（以下に記載すること）			

※1 認証予定期間は、プロジェクト登録の申請予定日若しくはモニタリングが可能となる予定日のいずれか遅い日から2021年3月31日までの間で設定すること。

※2 排出削減量の算定方法については、別紙A.3に記載すること。

## 5 データ管理

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載する。詳細については、J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）「2.4」を参照のこと。

### 5.1 モニタリング体制

データ管理責任者 ※1	柏崎市ガス水道局下水道課自然環境浄化センター場長
モニタリング担当者 ※1	柏崎市ガス水道局下水道課施設管理係長

※1 担当者の組織、役職名を記載すること（個人名は不要）。原則として、それぞれ別の担当者をおくこと。

### 5.2 モニタリングデータの収集・記録・保管

モニタリングデータの収集・記録・保管の手続 ※1	消化ガス発電による実発電量（送電端電力）は、自然環境浄化センターの維持管理委託をしている(株)ウォーターエージェンシーが、毎日電力量計を計測・記録し、1年単位で取りまとめた後、管理報告書として提出を受け、柏崎市ガス水道局が保管する。
データ保存期間 ※2	認証対象期間終了後__2__年間

※1 認証対象期間において複数の担当者がモニタリングを行う場合には、全ての担当者が適切にモニタリングデータの収集・記録・管理を行うための仕組みも併せて記載すること。

※2 原則認証対象期間終了後2年間とする。

## 6 特記事項

### 6.1 排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクの特定について ※1

排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクがあるか

有 無

※1 プロジェクト排出量が増加し、ベースライン排出量を上回る可能性のあるリスクも含む。リスクの例は、記載例を参照

(「有」にチェックした場合に記入)

項目	概要
リスク要因	

### 6.2 ダブルカウントの防止措置について

類似制度へプロジェクトを登録しているか。

登録している

(類似制度名 : \_\_\_\_\_)

類似制度での認証予定期間 : \_\_\_\_\_ )

登録していない

### 6.3 法令等の義務の有無について

プロジェクトの実施は、法令等の義務履行によるものではないか。

法令等の義務履行によるものではない。

法令等の義務履行によるものである。